

教育と文化

男女共同参画週間パネル展示

- 日時 6月11日(金)～29日(火)
市民図書館の開館時間中
- 場所 市民図書館展示ホール

～男女協働参画社会とは～

性別にかかわらず、自分らしく生きることを自由に選択できる社会のことです。

「男だから女だから」「男のくせに女のくせに」など、私たち自身の中にある固定的な性別による役割分担意識や偏見、差別があれば見つめなおし、誰もが生き生きと生活できる社会を目指しましょう。

※市では、市民と行政が、協力して男女協働参画に取り組むという意味で『協働』を使用しています。



6月23日(水)～29日(火)は『男女共同参画週間』です

『女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。』

● 問合せ先 企画政策課

男女協働推進係(☎2115)

国は、平成11年6月に施行された『男女共同参画社会基本法』の理解と関心を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。

今年度の男女共同参画週間のキャッチフレーズは、『女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。』です。これは、『これから』を創っていくための思いを込めたキャッチフレーズとして、15歳～20歳のユース世代の皆さんを対象に実施された公募で選ばれました。

郷土の文化財

伊万里の遺構シリーズ「埋葬遺構を中心として」⑧

● 問合せ先 生涯学習課文化財係(☎1262)

夏崎古墳

(東山代町日尾 昭和46年度調査)

夏崎古墳の副葬品は、発掘調査時に玄室床面から出土したものと江戸時代から地元大庄屋によって保管されていたものが確認されています。

調査時の出土遺物は鉄斧、鉄鍬、砥石、大刀、鉄剣、鉄鏃、小鉄片です。

地元大庄屋で保管していたものは、小札鉄留眉庇付冑、鉄留短甲、鉄剣、鉄鍬、鉄片で、江戸時代の長浜干拓工事中に発見されたものです。これは、当時の大庄屋が代々保管していましたが、平成六年に大庄屋の末裔の方が市へ寄贈されました。

副葬品のなかでも、鉄留短甲は、背面胸部に『×』形の帯金具がある点特徴的です。このような短甲は、

近畿で大規模な古墳を造営する集団が中心となった政権(大和政権)が製作・配布していたとされています。当時、玄海灘沿岸地域は大和政権の大陸進出のため前線基地だったと考えられているため、夏崎古墳の被葬者は、大和政権と政治関係を結んでいた可能性が高いと考えられます。この被葬者は、伊万里湾が大和政権の影響力下にあることを示し、周辺の他の豪族から前線基地を守っていたと考えられます。



↑鉄留短甲の背面